シネマズライフ

2017年6月2日発行 第125号 http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹 諒音（たかぎ りおん）

【最近のこれはお見事！】『イイネ！イイネ！イイネ！』劇映画だそうですが【クレイジーケンバンド】の映画らしい題名ですね。

【最近のこれはまずいぞ！】『素敵な遺産相続』イメージの悪い《遺産相続》に「素敵な」とつけてなかなか凝っているが、お話とあんまり関係なさそうな感じ。

映画の風景 日本の風景

ユニバーサルスタジオジャパン

『雨に唄えば』という映画があった。こんな映画だ。

ハリウッド、無声映画の時代。ドンとコスモはヴォードヴィル時代からの親友同士。やがて、ドンはハリウッドのスターに。ドンはスター女優・リナと恋人同士と思われているが、リナが勘違いしているだけで、ドンはまったくその気はない。

ある日、新人女優、キャシーと出会ったドンは彼女にひとめぼれ。ところが、それを知ったリナはキャシーを失貴させてしまう。

やがて、ハリウッドは【トーキー（音入り映画）】の時代になり、ドンとリナの新作映画も急遽（きゅうきょ）【トーキー】にする事に決定。しかし、スタッフ達もてんやわんやだが、一番の問題は大スター・リナで、とにかく信じられないぐらいの悪声で本人はそれほど自覚していないのも問題だ。

その頃ドンは再びキャシーに再会。お互い愛を確かめ合い愛し合うように。そこで、リナの悪声に悩まされていたドンは妙案を思いつくが…。

新しくは『ラ・ラ・ランド』古くは『オペラ座の怪人』など、映画・舞台の舞台裏を描いた作品は多いが、今でも楽しめる映画は貴重です。

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンでは、これが結構アナグロ的で、撮影所の雰囲気をも体験できる。

映画ファンとして映画黎明期の原点に戻ってみるのも楽しいかもしれない。

『雨に唄えば』1952年 アメリカ 監督：ジーン・ケリー スタンリー・ドーネン 音楽：ナシオ・ハーブ・ブラウン
出演：ジーン・ケリー デビー・レイノルズ ドナルド・オコナー

【トーキー】が始まった頃、アメリカで《世界恐慌》が始まり、多くの投資をしていたスター達にも直撃。その上【トーキー】の為、悪声・方言と自然の演技ができないスターは没落した。

コラム

『メトロポリス』のお話はどっかで聞いたぞと思う件

後編

同時代にロシアで製作された一九二五年に製作されたセルゲイ・エイゼンシュティン監督の『戦艦ポチョムキン』と共に、その社会を見据えた作品が同時代にできたというのは、やはりいつの時代も生きている人間は同じという事なのだろうか。

そして現代。《富裕層》と《庶民》の生活を分裂させてしまった世界の異常性を描いた『エリジウム』。監督のニール・ブロムカンプは、人間は人間を《差別》してしまうという【性（さが）】の醜さを描かせれば第一人者で、『第9地区』でも、人間のいやらしさが際立つが、逆に醜い宇宙人になっても《命あるものの愛》は変わらないという《普遍性》も描いていて、ラストシーンは胸を打つ。

↑『戦艦ポチョムキン』ソ連での公開時のポスター

世界は、複雑怪奇。決して単純ではなく、小説・映画の筋書きのようにはいかない。

だが、歴史などを思い返してみると、これはあの時代が再来したように思える事もあるから不思議である。

たかが映画・されど映画。

歴史を作ったのは確かに人間なのだが、また映画を作ったのもまた人間なのだ。

終

↑1561年にドイツで描かれた絵。UFOを描いたもの

*Wikipediaを参考にさせていただきました。m(_ _)m

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(_ _)m

『イヤー・オブ・ザ・ドラゴン』

イマジカBS

1985年 アメリカ
製作:ディノ・デ・ラウレンティス
監督 脚本:マイケル・チミノ
脚本:オリヴァー・ストーン
原作:ロバート・デイリー
出演:ジョン・ローン ミッキー・ローク
アリアーヌ ビクター・ウォン

6月3日(土) 14:00 6月8日(木) 18:30
6月13日(火) 8:00
6月19日(月) 25:30 ⇒ 6月20日(火) 1:30
6月30日(金) 16:30

少し前のアメリカ・ニューヨーク。チャイニーズ・マフィアのボスが暗殺された。それを機にニューヨーク市警の刑事スタンレイ・ホワイトが捜査に乗り出す。

今・チャイナタウンでは、新興勢力のジョン・タイが台頭してきており旧勢力と対立、ボスの暗殺も実はジョン・タイの仕業だった。ベトナム帰りのトラウマでスタンレイはこれを機会にチャイニーズ・マフィアの一掃を狙っていたが、ジョン・タイは組織内抗争と同時にスタンレイにも追われる事になる…。

香港俳優・ジョン・ローンが、主役のミッキー・ロークを完全に食ってしまいハリウッドスターになったきっかけとなった作品。近年まったく出演作品もなく寂しい限りだ。

『追 想』

スターチャンネル

1956年 アメリカ
監督:アナトール・リトヴァク
脚本:アーサー・ローレンツ ガイ・ボルトン
出演:ユル・ブリナー イングリッド・バーグマン
エイキム・タミロフ ヘレン・ヘイズ

6月4日(日) 27:00 ⇒ 6月5日(金) 3:00【チャンネル2】
6月19日(月) 24:20 ⇒ 6月19日(火) 0:20【チャンネル2】

20世紀に入ったばかりのロシア。十月革命で最後のロシア皇帝一家が惨殺された。そして、１０年後の１９２８年、ロシア帝国の将軍だったボーニンは、ニコライ2世が４人の娘達の持参金のためにイングランド銀行に預金した1000万ポンドを狙っていた。ある日、ボーニンは町で自殺未遂を起こし、記憶喪失になったアンナという女と出会う。どことなく気品のあるアンナを、行方不明になっているという《皇女アナスタシア》に仕立てて、ヨーロッパにいる皇帝一家の知人・親戚に合わせ《皇女アナスタシア》は生きているという【事実】を作り上げていくが・肝心のアナスタシアの祖母がなかなか会おうとせず…。

実際にあった《皇女アナスタシア》を名乗った女の事件がベース。この映画では、将軍・ボーニンとアンナの純愛映画となっています。

《皇女アナスタシア》をイングリッド・バーグマンが演じ、昔の美女の美しさを再確認！

『少年メリケンサック』

2009年 日本
監督 脚本：宮藤官九郎

出演： 宮崎あおい 木村祐一
細川茂樹 田口トモロヲ 三宅弘城
ユースケ・サンタマリア ピエール瀧

メープルレコードの契約社員・栗田かんな。《契約社員》ゆえ結果がでないとクビになってしまうが、なかなかうまくいかない。

ある日、社長の時田にせっつかれ、ネットでアップされていた【少年メリケンサック】に目をつける。時田から契約しろ！と命令され、連絡先を訪れるとリーダーのアキオは中年のおっさん！なんとアップされた映像は25年前のものだったのだ。

驚くかんなだったが、とにかく解散したグループの再結成を依頼。しかし、グループはアキオと弟のハルオの不仲で解散しており、その他メンバーもバラバラ。ところが、社長が勝手に動画サイトにグループの映像をアップしたところ、大評判になり、これまた勝手にライブの申し込みが殺到しているという。事実も言えず悩むかんなだったが、アキオは「オリジナルメンバーが集まらないと再結成はしない」と言われる始末で困りはてる。が、恋人のマサルに励まされ、アキオの弟ハルオを訪ねるが…。

前号で紹介した『TOO YOUNG TO DIE！若くして死ぬ』と同じ宮藤官九郎監督で脚本も担当。

こちらも、トリッキーな演出だが、特にかんな演ずる宮崎あおいの今までの殻を破り、切れ切れの演技が楽しく、宮崎あおいの別の面が見れて得した気分になります。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらコメントでご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！m(_ _)m 貴樹諒音

☆次回発行は6月16日。発行予定は第一・三金曜日です。

【編集後記】

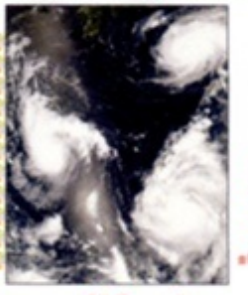
☆先日は珍しく〔竜巻〕まで起こった雨風でした。特に〔竜巻〕だろうと思われる風は〔台風が来た！〕と思わせるほどで、驚きました。世相が落ち着かない昨今。天気だけでも落ち着いてほしいのですが(笑)。

☆そこで一句

大あらし
風まで真似るか
偽装台風

皆さまお体大切に！
かしこ m(_ _)m

シネマズライフ125号
発行人：貴樹諒音
発行日：2017年6月2日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/



シネマズライフーcinemaz-lifeー １２５号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《イマジカＢＳ》
『イヤー・オブ・ザ・ドラゴン』
《スターチャンネル》
『追想』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--

※＆ 他にもいろいろやってます。**(^^;)** ※＆
お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO

『オススメ犬映画』
http://www.pet-c.net/column/movie/index.php
犬の映画を紹介してます。

§※§※§※